

科目一覧(曜日・時限順)

春学期

曜日	時限	講義番号	科目名	担当者	募集人数	キャンパス
月	2	26	仏教と文化 I	木村文輝	15	日進
		28	宗教社会学 I	熊田一雄	5	日進
		48	東洋史特殊講義B-I	広中一成	5	日進
		75	国際研究 I a	大澤傑	5	日進
月	3	57	東西交渉史 I	松下憲一	15	日進
		73	マクロ経済学 I	吉田雅彦	3	名城公園
月	4	9	英語学入門	藤田賢	5	日進
		22	現代社会と宗教 I	伊藤雅之	10	日進
		68	先端医療概論	伊藤高行	10	日進
火	2	32	禅の思想 I-I	清野宏道	15	日進
		35	古典文学研究 I	川名淳子	10	日進
		38	日本の思想 I	下川玲子	10	日進
		45	考古学概説 I	長井謙治	5	日進
		60	日本史特殊研究A-I	松蘭斉	10	日進
		76	産官学連携講座 I	松岡昌幸	5	日進
火	3	4	Business English a	柴田篤志	3	日進
		13	ドイツ語Ⅲ(表現)	三宅恭子	15	日進
		20	仏教の歴史 I	石田尚敬	15	日進
		25	中国仏教の思想 I	大松久規	10	日進
		65	日本の近代文学 I	吉田遼人	10	日進
		67	スポーツ心理学	石田光男	10	日進
		77	コミュニティ論	村田尚生	5	日進
火	4	69	ミクロ経済学 I	王嘉陽	3	名城公園
		71	ミクロ経済学 I	三好向洋	3	名城公園

曜日	時限	講義番号	科目名	担当者	募集人数	キャンパス
水	2	6	Historical Affairs	C.A.スミス	5	日進
		43	日本民俗学 I	蛸島直	5	日進
		64	国際関係史 I	門間卓也	10	日進
水	4	47	アジアのなかの日本文化 I	平野克典	15	日進
		58	地域史特殊研究C-I	松島周一	10	日進
		62	言語と文化 I	三木理	5	日進
木	1	30	宗教心理学 I	熊田一雄	5	日進
		50	イギリス文学研究a	星久美子	5	日進
木	2	1	社会言語学	石川弓子	5	日進
		7	日本語学 I	多門靖容	10	日進
木	3	15	言語学 I	三宅俊浩	10	日進
		52	地域宗教文化Ⅲ-I	松浦史明	15	日進
木	4	3	第2言語習得論	上田恒雄	5	日進
		18	インド仏教の思想 I	石田尚敬	15	日進
金	2	41	アメリカ文化特講 I a	高木真理子	5	日進
金	3	11	英語研究特講 I a	前田満	5	日進
金	4	54	仏教美術 I	松浦史明	15	日進

授業時間帯

【日進キャンパス】

【名城公園キャンパス】

1時限	9:30~11:00	9:00~10:30
2時限	11:10~12:40	10:40~12:10
3時限	13:30~15:00	13:10~14:40
4時限	15:10~16:40	14:50~16:20
5時限	16:50~18:20	16:30~18:00

科目一覧(曜日・時限順)

秋学期

曜日	時限	講義番号	科目名	担当者	募集人数	キャンパス
月	2	27	仏教と文化Ⅱ	木村文輝	15	日進
		29	宗教社会学Ⅱ	熊田一雄	5	日進
		49	東洋史特殊講義B-Ⅱ	広中一成	5	日進
月	3	74	マクロ経済学Ⅱ	吉田雅彦	3	名城公園
月	4	23	現代社会と宗教Ⅱ	伊藤雅之	10	日進
		46	古文書学Ⅱ	中川すがね	7	日進
火	2	10	言語・文化と教育入門	藤田賢	5	日進
		33	禅の思想Ⅰ-Ⅱ	清野宏道	15	日進
		34	考古学概説Ⅱ	加藤一郎	5	日進
		36	古典文学研究Ⅱ	川名淳子	10	日進
		39	日本の思想Ⅱ	下川玲子	10	日進
		61	日本史特殊研究A-Ⅱ	松蘭斉	10	日進
火	3	5	Business English b	柴田篤志	3	日進
		14	ドイツ語Ⅳ(表現)	三宅恭子	15	日進
		21	仏教の歴史Ⅱ	石田尚敬	15	日進
		24	中国仏教の思想Ⅱ	大松久規	10	日進
		66	日本の近代文学Ⅱ	吉田遼人	10	日進
火	4	70	ミクロ経済学Ⅱ	王嘉陽	3	名城公園
		72	ミクロ経済学Ⅱ	三好向洋	3	名城公園
水	1	40	国際関係史	杉山知子	5	日進
		37	アジアのなかの日本文化Ⅱ	小崎智則	15	日進
水	2	44	日本民俗学Ⅱ	蛸島直	5	日進
水	4	59	地域史特殊研究C-Ⅱ	松島周一	10	日進
		63	言語と文化Ⅱ	三木理	5	日進

曜日	時限	講義番号	科目名	担当者	募集人数	キャンパス
木	1	31	宗教心理学Ⅱ	熊田一雄	5	日進
		51	イギリス文学研究b	星久美子	5	日進
木	2	2	日英語比較論	石川弓子	5	日進
		8	日本語学Ⅱ	多門靖容	10	日進
木	3	16	言語学Ⅱ	三宅俊浩	10	日進
		53	地域宗教文化Ⅲ-Ⅱ	松浦史明	15	日進
木	4	17	Interpreter Guide	山田貴将	2	日進
		19	インド仏教の思想Ⅱ	石田尚敬	15	日進
金	2	42	アメリカ文化特講Ⅰb	高木真理子	5	日進
金	3	12	英語研究特講Ⅰb	前田満	5	日進
金	4	55	仏教美術Ⅱ	松浦史明	15	日進
		56	大衆文化論	松崎博	5	日進

授業時間帯

【日進キャンパス】

【名城公園キャンパス】

1時限	9:30~11:00	9:00~10:30
2時限	11:10~12:40	10:40~12:10
3時限	13:30~15:00	13:10~14:40
4時限	15:10~16:40	14:50~16:20
5時限	16:50~18:20	16:30~18:00

科目一覧(ジャンル別)

言語

講義番号	科目名	副題	担当者	学期	曜日	時限	募集人数	キャンパス
1	社会言語学	言語と社会の関わりを学ぶ	石川弓子	春	木	2	5	日進
2	日英語比較論	日本語と英語の違いを考える	石川弓子	秋	木	2	5	日進
3	第2言語習得論	言葉の習得について	上田恒雄	春	木	4	5	日進
4	Business English a	海外でのビジネス実務経験のある教員による講義	柴田篤志	春	火	3	3	日進
5	Business English b	海外でのビジネス実務経験のある教員による講義	柴田篤志	秋	火	3	3	日進
6	Historical Affairs	Historical affairs in English-speaking countries	C.A.スミス	春	水	2	5	日進
7	日本語学 I	ことばの仕組みを探る	多門靖容	春	木	2	10	日進
8	日本語学 II	ことばの仕組みを探る	多門靖容	秋	木	2	10	日進
9	英語学入門	英語の歴史、英語の特徴	藤田賢	春	月	4	5	日進
10	言語・文化と教育入門	第二言語習得・応用心理言語学	藤田賢	秋	火	2	5	日進
11	英語研究特講 I a	言語と社会	前田満	春	金	3	5	日進
12	英語研究特講 I b	言語とコミュニケーションの仕組み	前田満	秋	金	3	5	日進
13	ドイツ語Ⅲ(表現)	ドイツ語表現の基礎を学ぶ	三宅恭子	春	火	3	15	日進
14	ドイツ語Ⅳ(表現)	ドイツ語表現の基礎を学ぶ	三宅恭子	秋	火	3	15	日進
15	言語学 I	言語の基本的な構造を知ろう。	三宅俊浩	春	木	3	10	日進
16	言語学 II	言語、とりわけ日本語の歴史的変化を知ろう。	三宅俊浩	秋	木	3	10	日進
17	Interpreter Guide	インバウンド観光サービスの最前線の英語を学ぶ	山田貴将	秋	木	4	2	日進

宗 教

講義 番号	科目名	副題	担当者	学期	曜日	時限	募集 人数	キャンパス
18	インド仏教の思想Ⅰ	『般若心経』を読む	石田尚敬	春	木	4	15	日進
19	インド仏教の思想Ⅱ	『般若心経』とその関連文献を読む	石田尚敬	秋	木	4	15	日進
20	仏教の歴史Ⅰ	『法顕伝』を通してインド仏教の姿を知る	石田尚敬	春	火	3	15	日進
21	仏教の歴史Ⅱ	『法顕伝』及び『大唐西域記』を通してインド仏教の姿を知る	石田尚敬	秋	火	3	15	日進
22	現代社会と宗教Ⅰ	宗教とスピリチュアリティへのアプローチ	伊藤雅之	春	月	4	10	日進
23	現代社会と宗教Ⅱ	宗教共同体とユダヤ・キリスト教文化	伊藤雅之	秋	月	4	10	日進
24	中国仏教の思想Ⅱ	仏教を実践するために	大松久規	秋	火	3	10	日進
25	中国仏教の思想Ⅰ	仏教を実践するために	大松久規	春	火	3	10	日進
26	仏教と文化Ⅰ	現代に受け継がれる日本仏教の思想と文化	木村文輝	春	月	2	15	日進
27	仏教と文化Ⅱ	無宗教日本の葬式仏教	木村文輝	秋	月	2	15	日進
28	宗教社会学Ⅰ	よくわかる宗教社会学	熊田一雄	春	月	2	5	日進
29	宗教社会学Ⅱ	よくわかる宗教社会学	熊田一雄	秋	月	2	5	日進
30	宗教心理学Ⅰ	現代日本の宗教心理複合運動	熊田一雄	春	木	1	5	日進
31	宗教心理学Ⅱ	現代日本の宗教心理複合運動	熊田一雄	秋	木	1	5	日進
32	禅の思想Ⅰ－Ⅰ	道元の思想背景について学ぶ	清野宏道	春	火	2	15	日進
33	禅の思想Ⅰ－Ⅱ	道元の基本思想を学ぶ	清野宏道	秋	火	2	15	日進

文化・歴史

講義番号	科目名	副題	担当者	学期	曜日	時限	募集人数	キャンパス
34	考古学概説Ⅱ	考古学の基本と考古学による日本歴史	加藤一郎	秋	火	2	5	日進
35	古典文学研究Ⅰ	王朝の和歌を読む	川名淳子	春	火	2	10	日進
36	古典文学研究Ⅱ	王朝の和歌を読む	川名淳子	秋	火	2	10	日進
37	アジアのなかの日本文化Ⅱ	日本における漢字・漢文・漢学の受容	小崎智則	秋	水	1	15	日進
38	日本の思想Ⅰ	日本思想史概略(古代から近世初期まで)	下川玲子	春	火	2	10	日進
39	日本の思想Ⅱ	日本思想史概略(近世から近代まで)	下川玲子	秋	火	2	10	日進
40	国際関係史	戦争と歴史認識	杉山知子	秋	水	1	5	日進
41	アメリカ文化特講Ⅰa	多エスニック・多文化社会ハワイにおける「共生」の意味を探る	高木真理子	春	金	2	5	日進
42	アメリカ文化特講Ⅰb	「アジア系」アメリカ人の経験を通してみるアメリカ社会:寛容な社会をめざして	高木真理子	秋	金	2	5	日進
43	日本民俗学Ⅰ	身の回りの諸習慣の意味を読み解こう	蛸島直	春	水	2	5	日進
44	日本民俗学Ⅱ	日本の口承文芸や俗信を考える	蛸島直	秋	水	2	5	日進
45	考古学概説Ⅰ	考古学概説Ⅰ	長井謙治	春	火	2	5	日進
46	古文書学Ⅱ	日本近世の古文書を探す・読む	中川すがね	秋	月	4	7	日進
47	アジアのなかの日本文化Ⅰ	日本文化に溶け込んだインドの文化	平野克典	春	水	4	15	日進
48	東洋史特殊講義B-Ⅰ	20世紀前半の中国をめぐる諸相①	広中一成	春	月	2	5	日進
49	東洋史特殊講義B-Ⅱ	20世紀前半の中国をめぐる諸相②	広中一成	秋	月	2	5	日進
50	イギリス文学研究a	イギリス文学を通して学ぶ歴史と文化	星久美子	春	木	1	5	日進
51	イギリス文学研究b	イギリス文学を通して学ぶ歴史と文化(19世紀以降)	星久美子	秋	木	1	5	日進
52	地域宗教文化Ⅲ-Ⅰ	東南アジアの歴史と宗教1	松浦史明	春	木	3	15	日進
53	地域宗教文化Ⅲ-Ⅱ	東南アジアの歴史と宗教2	松浦史明	秋	木	3	15	日進
54	仏教美術Ⅰ	仏教を伝えるためのイメージとメッセージ	松浦史明	春	金	4	15	日進
55	仏教美術Ⅱ	仏教図像から見えてくるグローバルとローカル	松浦史明	秋	金	4	15	日進

56	大衆文化論	ブロードウェイミュージカル:アメリカ社会を映し出す鏡	松崎博	秋	金	4	5	日進
57	東西交渉史 I	東西交渉と遊牧民	松下憲一	春	月	3	15	日進
58	地域史特殊研究C-I	中世の尾張・三河	松島周一	春	水	4	10	日進
59	地域史特殊研究C-II	戦国・織豊期の尾張・三河	松島周一	秋	水	4	10	日進
60	日本史特殊研究A-I	平安時代から中世にかけての王朝政治と文化	松藺斉	春	火	2	10	日進
61	日本史特殊研究A-II	平安時代から中世にかけての王朝政治と文化	松藺斉	秋	火	2	10	日進
62	言語と文化 I	日本語の語彙(基礎編)	三木理	春	水	4	5	日進
63	言語と文化 II	日本語の語彙(ケーススタディ)	三木理	秋	水	4	5	日進
64	国際関係史 I	「強制労働」の歴史	門間卓也	春	水	2	10	日進
65	日本の近代文学 I	明治期の小説表現史	吉田遼人	春	火	3	10	日進
66	日本の近代文学 II	大正期以降の小説表現史	吉田遼人	秋	火	3	10	日進

心 理

講義番号	科目名	副題	担当者	学期	曜日	時限	募集人数	キャンパス
67	スポーツ心理学	スポーツ科学における心理学的アプローチを学ぶ。	石田光男	春	火	3	10	日進

健 康

講義番号	科目名	副題	担当者	学期	曜日	時限	募集人数	キャンパス
68	先端医療概論	生命科学の進歩とそれが医療に新たにもたらすもの	伊藤高行	春	月	4	10	日進

経済

講義番号	科目名	副題	担当者	学期	曜日	時限	募集人数	キャンパス
69	ミクロ経済学Ⅰ	ミクロ経済学の基礎から学ぼう	王嘉陽	春	火	4	3	名城公園
70	ミクロ経済学Ⅱ	ミクロ経済学の基礎から学ぼう	王嘉陽	秋	火	4	3	名城公園
71	ミクロ経済学Ⅰ	市場の理論の基礎	三好向洋	春	火	4	3	名城公園
72	ミクロ経済学Ⅱ	消費者行動と生産者行動の分析	三好向洋	秋	火	4	3	名城公園
73	マクロ経済学Ⅰ	国民所得の概念とその決定理論	吉田雅彦	春	月	3	3	名城公園
74	マクロ経済学Ⅱ	マクロ経済政策	吉田雅彦	秋	月	3	3	名城公園

政治

講義番号	科目名	副題	担当者	学期	曜日	時限	募集人数	キャンパス
75	国際研究Ⅰa	グローバル化する社会を理解する	大澤傑	春	月	2	5	日進

その他

講義番号	科目名	副題	担当者	学期	曜日	時限	募集人数	キャンパス
76	産官学連携講座Ⅰ	地域の観光まちづくり(持続可能な観光のカタチを共創)	松岡昌幸	春	火	2	5	日進
77	コミュニティ論	持続可能な地域コミュニティのあり方を考える	村田尚生	春	火	3	5	日進

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
1	春	言語	社会言語学		石川弓子	木	2	5
【副題】						開講キャンパス		
言語と社会の関わりを学ぶ						日進		
【講義内容】								
話し手と聞き手の親密度、上下関係、話し手の年齢、性別、社会的地位などの社会的要因が話し方に与える影響、多民族主義、多文化主義や国家の言語政策が言語に与える影響について学び、特に相手との関係性を考慮してコミュニケーションを行う能力を身につける。								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
授業欠席時の録画配信;チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している);講義資料の配信;								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
2	秋	言語	日英語比較論		石川弓子	木	2	5
【副題】						開講キャンパス		
日本語と英語の違いを考える						日進		
【講義内容】								
日本語と英語を語彙、文法、文の構造、表現方法、音声、非言語行動など、様々な側面から比較し、その違いを理論的に学ぶことを通じて、例えば和文英訳、英文和訳の際により適切な語彙を選択したり、より適切な訳し方が出来るようになります。また、特に表現方法の違いを学びながら、日本と英語圏の文化や慣習、考え方の違いの一部も学びます。								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信;授業欠席時の録画配信;チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している);								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
3	春	言語	第2言語習得論	 上田恒雄	木	4	5
【副題】 言葉の習得について						開講キャンパス 日進	
【講義内容】 受講者それぞれに自分自身の外国語学習の経験を振り返ってもらいながら、現在の考え方や研究方法に触れる。さらに英語学習者の英語習得についての研究成果も学び、英語教育への応用の可能性を探る。英語学習者がどのような過程を経て英語を習得していくのかを学ぶと同時に言語習得のメカニズムをふまえた指導方法についての知識を得る。							
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない;							
【Microsoft Teams の利用方法】 課題・レポート等の配信;講義資料の配信;							
【WebCampus の利用方法】 授業では使用しない。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
4	春	言語	Business English a	 柴田篤志	火	3	3
【副題】 海外でのビジネス実務経験のある教員による講義						開講キャンパス 日進	
【講義内容】 ビジネスの代表的な場面について、必須項目を4技能の観点から学ぶ。ビジネスで実際に遭遇することの多い15の場面において、典型的な会話を「聞き」、「話し」、関連のオリジナルパッセージを「読み」、最後に email を「書く」トレーニングを行う。							
【パソコンの利用方法】 Microsoft Teams、WebCampus の利用;							
【Microsoft Teams の利用方法】 講義資料の配信;課題・レポート等の配信;チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している);							
【WebCampus の利用方法】 授業では使用しない。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
5	秋	言語	Business English b 	柴田篤志	火	3	3
【副題】					開講キャンパス		
海外でのビジネス実務経験のある教員による講義					日進		
【講義内容】							
本講では国際的なビジネスや貿易業務における習慣やマナー、エチケットに関する異文化理解、コミュニケーション論などを題材にした英文を読みます。							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない;							
【Microsoft Teams の利用方法】							
講義資料の配信;課題・レポート等の配信;							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
6	春	言語	Historical Affairs 	C.A.スミス	水	2	5
【副題】					開講キャンパス		
Historical affairs in English-speaking countries					日進		
【講義内容】							
This is a Content and Language Integrated Learning Course. In this course, we study historical events in English while studying English language. Students will therefore improve their English and their knowledge of world events.							
【パソコンの利用方法】							
Microsoft Teams、WebCampus の利用;							
【Microsoft Teams の利用方法】							
課題・レポート等の配信;							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
7	春	言語	日本語学 I	多門靖容	木	2	10
【副題】 ことばの仕組みを探る					開講キャンパス 日進		
【講義内容】 身の回りの日本語をデータとして、言語学の基礎的な考え方を学びます。春学期は、言語獲得、音声学、形態論、意味論の一部の領域を学びます。							
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない;							
【Microsoft Teams の利用方法】 授業では使用しない;							
【WebCampus の利用方法】 授業では使用しない。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
8	秋	言語	日本語学 II	多門靖容	木	2	10
【副題】 ことばの仕組みを探る					開講キャンパス 日進		
【講義内容】 主として現代日本語をデータとして、言語学の基礎的な考え方を学ぶ。秋学期は意味論、文法論を学ぶ。							
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない;							
【Microsoft Teams の利用方法】 授業では使用しない;							
【WebCampus の利用方法】 授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
9	春	言語	英語学入門		藤田賢	月	4	5
【副題】						開講キャンパス		
英語の歴史、英語の特徴						日進		
【講義内容】								
本講義は、英語の発音と綴り、標準英語と英語の変種、英語の歴史などについて、基礎的な知識を身につけ、英語とはどのような言語で、どのようにして今日の英語が確立されたのかについて理解することを目指します。※授業レベル:上級								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
課題・レポート等の配信;チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している);								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
10	秋	言語	言語・文化と教育入門		藤田賢	火	2	5
【副題】						開講キャンパス		
第二言語習得・応用心理言語学						日進		
【講義内容】								
第二言語習得研究から外国語学習・外国語教育の在り方について考えます。特に、人間はどのように言語を習得するか、母語と第二言語の関係はどのようにになっているか、第二言語習得の認知メカニズム、動機づけなどについて学びます。								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
課題・レポート等の配信;チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している);								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
11	春	言語	英語研究特講 I a		前田満	金	3	5
【副題】						開講キャンパス		
言語と社会						日進		
【講義内容】								
この授業では、個人ではなく社会集団というより大きな視点から言語の社会的役割について学びます。具体的には、社会の構造、性差、民族のアイデンティティーなどが言語に及ぼす影響、言語や方言の使い分け、若者ことば、ことばの変化といった社会言語学的な問題がこの授業の主なテーマです。コミュニケーションを巨視的にとらえることにより、日頃気付かない言語の役割が浮き彫りとなります。								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
授業では使用しない;講義資料の配信;								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。講義についての連絡。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
12	秋	言語	英語研究特講 I b		前田満	金	3	5
【副題】						開講キャンパス		
言語とコミュニケーションの仕組み						日進		
【講義内容】								
この授業では、私たちの日常的なコミュニケーション活動と社会における言語の働きについて考えます。コミュニケーションはよく単なる情報のやりとりだと言われますが、これはあまりにも単純な見方です。この授業では、記号としての言語の働きやコンテキストの重要性、そして言語の社会行動的側面に留意し、コミュニケーションの仕組みを明らかにします。								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
授業では使用しない;講義資料の配信;								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。講義についての連絡。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
13	春	言語	ドイツ語Ⅲ(表現)		三宅恭子	火	3	15
【副題】						開講キャンパス		
ドイツ語表現の基礎を学ぶ						日進		
【講義内容】								
「習うドイツ語」から「使うドイツ語」を指向します。生きたドイツ語に実践的に対応できるように運用能力を養成します。各回の授業ではドイツ語圏の文化や生活など、ドイツ事情に関する会話を中心にドイツ語の会話力を高めます。あわせてドイツおよびヨーロッパに対する理解を深めます。								
【パソコンの利用方法】								
オフィスアプリケーション(Word、Excel 等)の利用;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
授業では使用しない;								
【WebCampus の利用方法】								
講義資料の配信。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
14	秋	言語	ドイツ語Ⅳ(表現)		三宅恭子	火	3	15
【副題】						開講キャンパス		
ドイツ語表現の基礎を学ぶ						日進		
【講義内容】								
「習うドイツ語」から「使うドイツ語」を指向します。生きたドイツ語に実践的に対応できるように運用能力を養成します。各回の授業ではドイツ語圏の文化や生活など、ドイツ事情に関する会話を中心にドイツ語の会話力を高めます。あわせてドイツおよびヨーロッパに対する理解を深めます。								
【パソコンの利用方法】								
オフィスアプリケーション(Word、Excel 等)の利用;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
授業では使用しない;								
【WebCampus の利用方法】								
講義資料の配信。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
15	春	言語	言語学 I		三宅俊浩	木	3	10
【副題】						開講キャンパス		
言語の基本的な構造を知ろう。						日進		
【講義内容】								
言語の基本的な構造、音声、文字表記、形態論、意味論について講義する。								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない；								
【Microsoft Teams の利用方法】								
チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している);リアクションペーパーとして使用する。；								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
16	秋	言語	言語学 II		三宅俊浩	木	3	10
【副題】						開講キャンパス		
言語、とりわけ日本語の歴史的変化を知ろう。						日進		
【講義内容】								
日本語が歴史上、どのように変化してきて現代日本語が形成されたかを、文献により得られるデータをもとに概説する。								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない；								
【Microsoft Teams の利用方法】								
チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している);リアクションペーパーとして使用する。；								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
17	秋	言語	Interpreter Guide		山田貴将	木	4	2
【副題】						開講キャンパス		
インバウンド観光サービスの最前線の英語を学ぶ						日進		
【講義内容】								
<p>本授業は、通訳ガイドに関する講義と実技演習を通じて、高度な英語運用能力を養いながら、様々な言語・文化背景を持つ人々と効果的にコミュニケーションを図る力を向上させることを目的としています。グローバル社会で活躍するには高度な英語運用能力に加えて、自国の文化や歴史に対する造詣を深めることが不可欠です。よって、本授業では、自国の観光名所・地理・文化・歴史に関する基礎知識を習得し、それをシンプルな英語で表現するための力を訓練します。学期末にはそれまでに学んだことを基に英語でプレゼンテーションを行います。</p> <p>1. 本授業は初中級者向けのコースです。2. 本授業は通訳案内士の資格を取ることを直接的な目的とはしていません。</p>								
【パソコンの利用方法】								
オフィスアプリケーション (Word、Excel 等) の利用; Microsoft Teams、WebCampus の利用;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信; 課題・レポート等の配信; チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している);								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
18	春	宗教	インド仏教の思想 I		石田尚敬	木	4	15
【副題】						開講キャンパス		
『般若心経』を読む						日進		
【講義内容】								
<p>本講義では、インドにおける仏教思想の展開を扱います。今年度は『般若心経』を取り上げ、サンスクリット原典とその翻訳、さらには玄奘などによる中国語訳(漢訳)を併せて講読し、インド大乘仏教の特色を考察したいと思います。</p>								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信; 課題・レポート等の配信;								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
19	秋	宗教	インド仏教の思想Ⅱ		石田尚敬	木	4	15
【副題】						開講キャンパス		
『般若心経』とその関連文献を読む						日進		
【講義内容】								
本講義では、インドにおける仏教思想の展開を扱います。今年度は『般若心経』を取り上げ、サンスクリット原典とその翻訳、さらには玄奘などによる中国語訳(漢訳)を併せて講読し、インド大乘仏教の特色を考察したいと思います。後期は、『八千頌般若』や『二万五千頌般若』など、関連する般若経典も参照し、般若経典について理解を深めます。								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
課題・レポート等の配信;講義資料の配信;								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
20	春	宗教	仏教の歴史Ⅰ		石田尚敬	火	3	15
【副題】						開講キャンパス		
『法顕伝』を通してインド仏教の姿を知る						日進		
【講義内容】								
本講義では、インド仏教の基礎知識を身に付け、インドにおいて成立した仏教の歴史的展開を把握することを目的とします。本年度は、法顕の著作『仏国記』を初めとして、中国からインドへ旅した留学僧たちの著作を取り上げ、インド仏教の歴史をどれほど客観的に見ることができるか、考察していきます。講義では、原典とその翻訳を配布して読解するほか、映像資料も積極的に使用する予定です。								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信;課題・レポート等の配信;								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
21	秋	宗教	仏教の歴史Ⅱ		石田尚敬	火	3	15
【副題】						開講キャンパス		
『法頭伝』及び『大唐西域記』を通してインド仏教の姿を知る						日進		
【講義内容】								
本講義では、インド仏教の基礎知識を身に付け、インドにおいて成立した仏教の歴史的展開を把握することを目的とします。本年度は、法頭の『仏国記』や玄奘の『大唐西域記』を取り上げ、中国からインドへ旅した留学僧たちの著作を通してインド仏教の歴史を考察します。講義では、原典とその翻訳を配布して読解するほか、映像資料も積極的に使用する予定です。								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信;課題・レポート等の配信;								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
22	春	宗教	現代社会と宗教Ⅰ		伊藤雅之	月	4	10
【副題】						開講キャンパス		
宗教とスピリチュアリティへのアプローチ						日進		
【講義内容】								
この講義では、わたしたちのものの見方や考え方、感じ方の基盤となるような幅広い現象を宗教文化と捉え、その具体的な内容を検討する。そして受講生たちが身近な文化現象の背後にある広義の宗教への理解を深めていくことを目的とする。春学期は、日本人の宗教意識の特徴をふまえたうえで、1960年代以降に展開した現代スピリチュアリティ文化の特徴について探る。 授業への感想を2日以内に Teams に書き込んでいただきます。								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信;								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
23	秋	宗教	現代社会と宗教Ⅱ		伊藤雅之	月	4	10
【副題】						開講キャンパス		
宗教共同体とユダヤ・キリスト教文化						日進		
【講義内容】								
<p>この講義では、わたしたちのものの見方や考え方、感じ方の基盤となるような幅広い現象を宗教文化と捉え、その具体的な内容を検討する。そして受講生たちが身近な文化現象の背後にある(広義の)宗教への理解を深めていくことを目的とする。秋学期は、人々の幸福と宗教共同体との関係、および欧米の価値観の基盤となっているユダヤ・キリスト教文化の特徴について概観する。</p> <p>授業への感想を2日以内に Teams に書き込んでいただきます。</p>								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信;								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
24	秋	宗教	中国仏教の思想Ⅱ		大松久規	火	3	10
【副題】						開講キャンパス		
仏教を実践するために						日進		
【講義内容】								
<p>いかに仏教を実践すべきか、中国で成立した文献の読解を通して学びます。実践の理論は、詳細に体系化されているため煩瑣に見えるかも知れませんが、全体を大きく捉えられるよう心掛けながら読解します。その過程で、中国仏教における基礎知識や専門用語についても学びます。</p>								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信;課題・レポート等の配信;								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
25	春	宗教	中国仏教の思想 I	 大松久規	火	3	10
【副題】					開講キャンパス		
仏教を実践するために					日進		
【講義内容】							
いかに仏教を実践すべきか、中国で成立した文献の読解を通して学びます。実践の理論は、詳細に体系化されているため煩瑣に見えるかも知れませんが、全体を大きく捉えられるよう心掛けながら読解します。その過程で、中国仏教における基礎知識や専門用語についても学びます。							
【パソコンの利用方法】							
Microsoft Teams、WebCampus の利用;							
【Microsoft Teams の利用方法】							
課題・レポート等の配信;講義資料の配信;							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
26	春	宗教	仏教と文化 I	 木村文輝	月	2	15
【副題】					開講キャンパス		
現代に受け継がれる日本仏教の思想と文化					日進		
【講義内容】							
本講義では、現代まで伝わる日本仏教の様々な思想と、それにもとづく日本文化の諸相について、その源流を日本仏教の歴史の中に探ることを目指します。具体的には、日本への仏教伝来から江戸時代までを対象として、それぞれの時代背景の中で成立した思想と文化を時系列にそって概観するとともに、それらが現代の日本において、どのような形で受け継がれているのかを考察します。その一環として、神と仏の共存や、葬式仏教の成り立ちなどにも論究する予定です。							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない;							
【Microsoft Teams の利用方法】							
授業では使用しない;							
【WebCampus の利用方法】							
講義資料の配信。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
27	秋	宗教	仏教と文化Ⅱ		木村文輝	月	2	15
【副題】						開講キャンパス		
無宗教日本の葬式仏教						日進		
【講義内容】								
<p>本講義では、多くの人々が自らのことを「無宗教」と言いながら、その一方で宗教的な事柄に関わっている現代日本の状況を読み解きます。具体的には、明治維新以来の日本における仏教を中心とする宗教史を概観するとともに、現代日本人の「無宗教」意識、「ほどけ」という語にこめられた意味、仏教からみた「尊厳」、葬式仏教の意義と状況などを考察します。テキストには木村文輝著『仏法僧の現在』(八千代出版)を用います。また、本講義は一方的な知識の伝達ではありません。授業の中では、出席者からの意見表明も歓迎したいと思います。</p>								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
授業では使用しない;								
【WebCampus の利用方法】								
講義資料の配信。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
28	春	宗教	宗教社会学Ⅰ		熊田一雄	月	2	5
【副題】						開講キャンパス		
よくわかる宗教社会学						日進		
【講義内容】								
<p>『よくわかる宗教社会学』をテキストとして、宗教と社会の相関関係を幅広く概説します。あくまで概論ですので、教員自身のオリジナルな研究の話はいたしません。</p>								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信;								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
29	秋	宗教	宗教社会学Ⅱ		熊田一雄	月	2	5
【副題】						開講キャンパス		
よくわかる宗教社会学						日進		
【講義内容】								
『よくわかる宗教社会学』をテキストとして、宗教と社会の相関関係を幅広く概説します。あくまで概論ですので、教員自身のオリジナルな研究の話はしません。								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信;								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
30	春	宗教	宗教心理学Ⅰ		熊田一雄	木	1	5
【副題】						開講キャンパス		
現代日本の宗教心理複合運動						日進		
【講義内容】								
『内観療法入門ー日本的自己探求の世界ー』をテキストとして、日本仏教的(浄土真宗的)な心理療法=人格修養法である内観療法について解説します。								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信;								
【WebCampus の利用方法】								
レポート課題登録。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
31	秋	宗教	宗教心理学Ⅱ		熊田一雄	木	1	5
【副題】						開講キャンパス		
現代日本の宗教心理複合運動						日進		
【講義内容】								
アルコール・薬物依存、ギャンブル依存に始まり、ゲーム障害、スマホ・ネット依存……。現代社会に依存症のタネはつきません。依存症から回復するためには、患者同士が支え合う自助グループに参加する必要がありますが、この自助グループが実は宗教なので、概説します。この授業を取ったからといって依存症治療の専門家になれる訳ではありませんが、身近な人が依存症になったときに助言できるくらいになると思います。								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信;								
【WebCampus の利用方法】								
レポート課題登録。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
32	春	宗教	禅の思想Ⅰ－Ⅰ		清野宏道	火	2	15
【副題】						開講キャンパス		
道元思想背景について学ぶ						日進		
【講義内容】								
日本の仏教を概括的に把握した上で、日本曹洞宗の開祖である道元にスポットを当て、その思想的な特性を学びます。従来、道元思想は「難解」と評されることが常でした。それは、伝統的な仏教や禅の所説に比べて、「修行」や「さとり」に対する考え方が極めて独創的であることによります。道元は、「日和見的な仏道修行」「安易な理解による満足」といった、旧来の陋習を破ろうとする強い意志をもち、新たな見地を創出しました。本講義では、道元が学んだ仏道の歩みを通して、道元禅が形成された背景に迫ります。								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信;								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
33	秋	宗教	禅の思想Ⅰ－Ⅱ	 清野宏道	火	2	15
【副題】					開講キャンパス		
道元の基本思想を学ぶ					日進		
【講義内容】							
<p>道元の著作に基づいて、思想的な特性を学びます。特に、「修行とさとの関係」を中心に、『正法眼蔵』によって道元禅の基本となる考え方をとらえます。『正法眼蔵』は、道元の著作中、最も大部なものであり、「道元思想の礎」といわれることもあるほど重要な典籍です。そこには、仏道に対する姿勢や心構えをはじめ、仏教における哲理の探求のほか、仏法の視点から現代にも通用するような、円満な人生を歩むまなざしが綴られています。道元は、仏道をどのようにとらえ、人生の基幹としたのか。本講義では、その深奥に迫ります。</p>							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない；							
【Microsoft Teams の利用方法】							
講義資料の配信；							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
34	秋	文化・歴史	考古学概説Ⅱ	 加藤一郎	火	2	5
【副題】					開講キャンパス		
考古学の基本と考古学による日本歴史					日進		
【講義内容】							
<p>この講義では、物質的な痕跡から人類の過去を探る学問である考古学の射程や方法、特徴、歴史などを解説するとともに、その考古学という方法によって解明された日本の歴史を紹介します。具体的にいうと、前半では考古学の基本的な概念や方法論などについて学史を紐解きながら解説するとともに、関連する諸科学を紹介し、考古学と現代社会のかかわりについても考えます。後半は、考古学にもとづく研究によって、日本列島における歴史や社会の変化をどのようにとらえることができるのか、通史的に概説をおこないます。</p>							
紙媒体でレジュメは配付しません。Teams 経由でダウンロードもしくはプリントアウトしてください。							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない；							
【Microsoft Teams の利用方法】							
講義資料の配信；課題・レポート等の配信；チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)；							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
35	春	文化・歴史	古典文学研究 I	川名淳子	火	2	10
【副題】 王朝の和歌を読む					開講キャンパス 日進		
【講義内容】 本講座では、『小倉百人一首』でよく知られた和歌を読み解く。恋歌や別れの歌、人生の述懐歌、季節のうつろいを描いた歌など、人の〈こころ〉が生み出した珠玉の〈ことば〉を読み味わう。あわせて歌人にまつわる興味深いエピソードや伝説もたどっていく。							
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない;							
【Microsoft Teams の利用方法】 授業では使用しない;							
【WebCampus の利用方法】 授業では使用しない。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
36	秋	文化・歴史	古典文学研究 II	川名淳子	火	2	10
【副題】 王朝の和歌を読む					開講キャンパス 日進		
【講義内容】 本講座では、『小倉百人一首』でよく知られた和歌を読み解く。恋歌や別れの歌、人生の述懐歌、季節のうつろいを描いた歌など、人の〈こころ〉が生み出した珠玉の〈ことば〉を読み味わう。あわせて歌人にまつわる興味深いエピソードや伝説もたどってゆく。							
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない;							
【Microsoft Teams の利用方法】 授業では使用しない;							
【WebCampus の利用方法】 授業では使用しない。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
37	秋	文化・歴史	アジアのなかの日本文化Ⅱ	小崎智則	水	1	15
【副題】					開講キャンパス		
日本における漢字・漢文・漢学の受容					日進		
【講義内容】							
<p>日本文化に対して、歴史的にとりわけ大きな影響を与えているのが中国の文化です。中国の文化は、外交使節や留学僧、貿易を通して、また、時として朝鮮半島を経由して漢籍とともに我が国に伝わり、様々な形で現在に受け継がれています。インドの文化や仏教でさえ、少なからず中国文化のフィルターを透過して日本に到達しています。</p> <p>本講義では、そうした中国の漢字や漢文の世界が、どのような形で日本の言語・文学・思想などの中に取り入れられていったのかを検討したいと思います。</p> <p>受講上の注意「副題と講義内容に十分ご留意の上で受講していただくようお願いいたします。」(※科目名からイメージした内容と違うという趣旨のクレームを頂戴しました)</p>							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない;							
【Microsoft Teams の利用方法】							
授業では使用しない;							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
38	春	文化・歴史	日本の思想Ⅰ	下川玲子	火	2	10
【副題】					開講キャンパス		
日本思想史概略(古代から近世初期まで)					日進		
【講義内容】							
<p>この授業では、日本思想史を、それぞれの原典を読解しながら通史的に学び、神道という基盤の上に、仏教・儒教・西洋思想などの外来思想を受け入れて成立した日本思想の重層性を確認する。</p> <p>日本の思想Ⅰでは、日本の古代から近世初期までの思想を取り上げる予定である。</p> <p>原典に親しみながら、日本思想史の基礎知識を通史的に身につける。春学期の目標は、古代から近世初期までの思想史の知識を獲得することである。</p>							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない;							
【Microsoft Teams の利用方法】							
授業では使用しない;							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
39	秋	文化・歴史	日本の思想Ⅱ	下川玲子	火	2	10
【副題】 日本思想史概略(近世から近代まで)					開講キャンパス 日進		
【講義内容】 この授業では、日本思想史を、それぞれの原典を読解しながら通史的に学ぶ。日本の思想Ⅱでは、春学期の日本の思想Ⅰに引き続いて、日本の近世と近代の思想家を取り上げる。日本の近世思想は朱子学の受容からその批判へと展開していった。江戸時代末期には、開国して西洋思想を受け容れて近代国家を構築すべきという考えが強くなり明治を迎える。そのような近世から近代にかけての日本思想の展開を把握できるようにする。							
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない;							
【Microsoft Teams の利用方法】 授業では使用しない;							
【WebCampus の利用方法】 授業では使用しない。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
40	秋	文化・歴史	国際関係史	 杉山知子	水	1	5
【副題】 戦争と歴史認識					開講キャンパス 日進		
【講義内容】 この授業では、まず初めに明治維新から第二次大戦終結までの日本が関わった戦争や紛争について学びます。戦争の経緯を学ぶなかで、日本の視点、他国の視点により「戦争」がかなり異なって見えることを学びます。また、時間の経過とともに過去の戦争のとらえ方に変化がみられます。その時々国内・海外事情も影響するかもしれませんが、先の大戦から50年以上がたち、「先の大戦」をどのようにとらえるようになったのか、その後の変化についても学んでいきたいと思えます。(諸事情により講義内容に変更があることがあります。ご理解ください。)							
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない;							
【Microsoft Teams の利用方法】 授業時に配布資料があります。Teamsにも資料をアップロードしますが、Teams利用なしで対応します。;							
【WebCampus の利用方法】 授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
41	春	文化・歴史	アメリカ文化特講 I a		高木真理子	金	2	5
【副題】						開講キャンパス		
多エスニック・多文化社会ハワイにおける「共生」の意味を探る						日進		
【講義内容】								
<p>ハワイがアメリカの帝国主義的進出によりその領土となるプロセスを辿る。ハワイ王国がいかんにして転覆させられたのか、ハワイ人のおかれた状況を把握する。そしてハワイへ渡った多様な移民労働者集団の中でも最大のグループとなった日本人移民の経験を、文献資料(日本語、英語)や映像を通して学ぶ。WASP の少数寡頭支配のもとで苦しんだ底辺の労働者の待遇改善への戦い、日米両政府の移民政策の影響、ハワイにおけるアメリカ化の問題、先住民と移民の子孫の間の軋轢などについて深く考察する。</p>								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信;課題・レポート等の配信;チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している);								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
42	秋	文化・歴史	アメリカ文化特講 I b		高木真理子	金	2	5
【副題】						開講キャンパス		
「アジア系」アメリカ人の経験を通してみるアメリカ社会:寛容な社会をめざして						日進		
【講義内容】								
<p>アメリカにおけるアジア系(日系、中国系、コリアン系、フィリピン系など)の戦前の移民の経験を理解した上で、資料(日本語、英語)を読み解きながら、第二次大戦中・戦後までの各アジア系アメリカ人コミュニティのアメリカにおける経験を概観する。移民一世、二世に関するビデオやオーラルヒストリーなどの資料を通じ、社会背景と移民の経験の「追体験」を試み、特に、移民母国とアメリカとの国際関係やアメリカにおける偏見との戦いの意味を探る。試験が15週目になる場合がある。試験を受けるかどうかは受講者に自由である。</p>								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信;課題・レポート等の配信;チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している);								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
43	春	文化・歴史	日本民俗学Ⅰ	蛸島直	水	2	5
【副題】					開講キャンパス		
身の回りの諸習慣の意味を読み解こう					日進		
【講義内容】							
日本民俗学の幅広い研究対象のうち、食文化や贈答、年中行事、そしてそれらの地域差に目を向けるとともに日本民俗学の資料収集・操作方法を検討する。身の回りの諸習慣の意味や機能、そして起源を読み解こうとする姿勢や力を養い、併せて聞き取りと観察の方法を教室内ではありながら学習したい。							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない；							
【Microsoft Teams の利用方法】							
授業では使用しない；							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
44	秋	文化・歴史	日本民俗学Ⅱ	蛸島直	水	2	5
【副題】					開講キャンパス		
日本の口承文芸や俗信を考える					日進		
【講義内容】							
日本民俗学の幅広い研究対象のうち、口承文芸(昔話・伝説・都市伝説など)や俗信(呪術・禁忌・予兆・ト占・妖怪・幽霊・民間医療)を主たる対象にし、その成立背景や法則性を考える。なにげなく語られる伝承の意味や背景を読み解きます。							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない；							
【Microsoft Teams の利用方法】							
授業では使用しない；							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
45	春	文化・歴史	考古学概説 I	長井謙治	火	2	5
【副題】 考古学概説 I					開講キャンパス 日進		
【講義内容】 考古学とは何か、にはじまり、考古学の研究法を初学者に分かりやすく解説します。土のなかから出てきた、物言わぬモノを語らしめて人類史を紐解くのが考古学の特質です。その方法論として、実際に過去のモノを作って、使ってみるという、実験考古学の手法について紹介します。座学のみならず、様々な手法を駆使して、考古学の広がり と魅力について、伝えたいと思います。							
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない;							
【Microsoft Teams の利用方法】 授業では使用しない;							
【WebCampus の利用方法】 授業では使用しない。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
46	秋	文化・歴史	古文書学 II	 中川すがね	月	4	7
【副題】 日本近世の古文書を探す・読む					開講キャンパス 日進		
【講義内容】 日本近世の古文書の入門的授業です。パワーポイント使用。初歩的な古文書の読解や翻刻の方法、パソコン等でのデジタルアーカイブの検索や古文書データのダウンロードの方法などを学びます。若尾俊平ほか編『増訂近世古文書解読辞典』柏書房をテキストとして使用します。 チームスで課題を出すので、家での予習復習が必要です。操作方法についてはサポートいたします。							
【パソコンの利用方法】 Microsoft Teams、WebCampus の利用;							
【Microsoft Teams の利用方法】 講義資料の配信;課題・レポート等の配信;チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している);							
【WebCampus の利用方法】 授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
47	春	文化・歴史	アジアのなかの日本文化 I 	平野克典	水	4	15
【副題】					開講キャンパス		
日本文化に溶け込んだインドの文化					日進		
【講義内容】							
日本文化の中には長年にわたって受け続けてきたアジア各国からの様々な影響が蓄積されている。本授業ではインド文化の影響を言語、宗教、文学を題材にして説明する。たとえば、五十音図の成立や日本語の諸単語の起源となったサンスクリット語、仏教に受容されたヒンドゥー教の神々、生まれ変わり(輪廻)や地獄などのヒンドゥー教や仏教の世界観、また日本文学の基底を流れる仏教思想などを概観し、インドの文化が日本文化にどのように受容され、変容したかを学ぶ。							
【パソコンの利用方法】							
Microsoft Teams、WebCampus の利用;							
【Microsoft Teams の利用方法】							
講義資料の配信;チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している);課題・レポート等の配信;							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
48	春	文化・歴史	東洋史特殊講義B-I	広中一成	月	2	5
【副題】					開講キャンパス		
20世紀前半の中国をめぐる諸相①					日進		
【講義内容】							
20世紀前半の中国をめぐる諸問題を取り上げる。特に日本との関係や国共両党の合作と対立、軍閥政権をめぐる動乱などを通して、中国国内でどのような問題が起こり、それがその後の中国にどのような変化や影響をもたらしたかを探っていく。							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない;							
【Microsoft Teams の利用方法】							
授業では使用しない;							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
49	秋	文化・歴史	東洋史特殊講義B-II	広中一成	月	2	5
【副題】					開講キャンパス		
20 世紀前半の中国をめぐる諸相②					日進		
【講義内容】							
20 世紀前半の中国をめぐる諸問題を取り上げる。特に満洲事変以降の日本との関係、国共両党の合作、日中戦争勃発後の日中関係や戦場の様子などとおして、この時代の中国の様相をみていく。							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない;							
【Microsoft Teams の利用方法】							
授業では使用しない;							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
50	春	文化・歴史	イギリス文学研究a	 星久美子	木	1	5
【副題】					開講キャンパス		
イギリス文学を通して学ぶ歴史と文化					日進		
【講義内容】							
この授業では、最も古いイギリス文学と言われている『ベーオウルフ』から 19 世紀に至るイギリス文学史を概観し、各時代を代表する作品について作者の生涯、あらすじ、登場人物の描写、英語表現、主題・技法、歴史的・社会的・文化的背景などについて学びます。							
【パソコンの利用方法】							
Microsoft Teams、WebCampus の利用;							
【Microsoft Teams の利用方法】							
課題・レポート等の配信;チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している);							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
51	秋	文化・歴史	イギリス文学研究b		星久美子	木	1	5
【副題】						開講キャンパス		
イギリス文学を通して学ぶ歴史と文化(19 世紀以降)						日進		
【講義内容】								
この授業では、19 世紀、とくにヴィクトリア朝から現代に至るイギリスおよびイギリス以外の英語圏の文学を概観し、各時代を代表する作品について作者の生涯、あらすじ、登場人物の描写、英語表現、主題・技法、歴史的・社会的・文化的背景などについて学びます。								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
課題・レポート等の配信;チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している);								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
52	春	文化・歴史	地域宗教文化Ⅲ－Ⅰ		松浦史明	木	3	15
【副題】						開講キャンパス		
東南アジアの歴史と宗教1						日進		
【講義内容】								
東南アジアは、世界的に見ても極めて多様な宗教が分布している地域です。その多様さは、この地域が長い時間をかけて、ヒンドゥー教・仏教・イスラーム教・キリスト教などの外来の宗教と、土着の文化が融合するなかで生み出されてきました。この講義では、東南アジア史の基本的な流れを把握しつつ、各宗教の受容と変容がこの地域に何をもたらしたのかについて考えます。								
春学期では、先史時代からアンコール・ワットの時代ごろまでのヒンドゥー教・大乘仏教の広がりについて講義します。								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
一般学生には Teams を通して授業資料の配信や課題を出す予定ですが、Teams の利用が難しい方については個別に対応いたします。;								
【WebCampus の利用方法】								
Teams の利用状況や使い勝手を踏まえながら、授業資料の配信などで WebCampus を利用する場合があります。。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
53	秋	文化・歴史	地域宗教文化Ⅲ－Ⅱ		松浦史明	木	3	15
【副題】						開講キャンパス		
東南アジアの歴史と宗教2						日進		
【講義内容】								
<p>東南アジアは、世界的に見ても極めて多様な宗教が分布している地域です。その多様さは、この地域が長い時間をかけて、ヒンドゥー教・仏教・イスラーム教・キリスト教などの外来の宗教と、土着の文化が融合するなかで生み出されてきました。この講義では、東南アジア史の基本的な流れを把握しつつ、各宗教の受容と変容がこの地域に何をもたらしたのかについて考えます。</p> <p>秋学期では、東南アジアの上座部仏教化とイスラーム化、フィリピンのキリスト教などについて講義します。</p>								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない；								
【Microsoft Teams の利用方法】								
一般学生には Teams を通して授業資料の配信や課題を出す予定ですが、Teams の利用が難しい方については個別に対応いたします。；								
【WebCampus の利用方法】								
Teams の利用状況や使い勝手を踏まえながら、授業資料の配信などで WebCampus を利用する場合があります。。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
54	春	文化・歴史	仏教美術Ⅰ		松浦史明	金	4	15
【副題】						開講キャンパス		
仏教を伝えるためのイメージとメッセージ						日進		
【講義内容】								
<p>最初は口から口へと伝えられた仏教の教えや説話は、やがて文字に書いて記録されるとともに、図像に描いて表現されるようになりました。祈りと修行の場である仏教寺院は、様々な美術で彩られていきます。この授業では、インド・東南アジア・東アジアなどに残された色々な種類の仏教美術を取り上げます。</p> <p>春学期では、それぞれの図像(イメージ)に込められた意図(メッセージ)を読み解きます。</p>								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない；								
【Microsoft Teams の利用方法】								
一般学生には Teams を通して授業資料の配信や課題を出す予定ですが、Teams の利用が難しい方については個別に対応いたします。；								
【WebCampus の利用方法】								
Teams の利用状況や使い勝手を踏まえながら、授業資料の配信などで WebCampus を利用する場合があります。。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
55	秋	文化・歴史	仏教美術Ⅱ		松浦史明	金	4	15
【副題】						開講キャンパス		
仏教図像から見えてくるグローバルとローカル						日進		
【講義内容】								
<p>最初は口から口へと伝えられた仏教の教えや説話は、やがて文字に書いて記録されるとともに、図像に描いて表現されるようになりました。祈りと修行の場である仏教寺院は、様々な美術で彩られていきます。この授業では、インド・東南アジア・東アジアなどに残された色々な種類の仏教美術を取り上げます。</p> <p>秋学期では、仏教美術の地域間比較を中心に、仏教というグローバルな思想が、各地域のローカルな文脈の中でどのように受け入れられ、表現されていったかを考えます。</p>								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
一般学生には Teams を通して授業資料の配信や課題を出す予定ですが、Teams の利用が難しい方については個別に対応いたします。;								
【WebCampus の利用方法】								
Teams の利用状況や使い勝手を踏まえながら、授業資料の配信などで WebCampus を利用する場合があります。。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
56	秋	文化・歴史	大衆文化論		松崎博	金	4	5
【副題】						開講キャンパス		
ブロードウェイミュージカル:アメリカ社会を映し出す鏡						日進		
【講義内容】								
<p>アメリカ大衆文化の華、ブロードウェイ・ミュージカルを、音源や映像資料などを使いながら、娯楽作品としてだけではなく、その時々アメリカ社会を映すか鏡として検討します。新規の映画公開、映像ソフトの発売、公演スケジュールにより、シラバスが変更されることがあります。</p>								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している);講義資料の配信;								
【WebCampus の利用方法】								
連絡等。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
57	春	文化・歴史	東西交渉史 I	松下憲一	月	3	15
【副題】 東西交渉と遊牧民					開講キャンパス 日進		
【講義内容】 ユーラシア大陸における交渉の歴史を遊牧民の視点から考えます。東西交渉というとシルクロードが思い浮かびますが、シルクロード交易に遊牧民がどのように関わっているのかを、具体的な事例をもとにせまります。							
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない;							
【Microsoft Teams の利用方法】 授業では使用しない;							
【WebCampus の利用方法】 授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
58	春	文化・歴史	地域史特殊研究C-I	松島周一	水	4	10
【副題】 中世の尾張・三河					開講キャンパス 日進		
【講義内容】 現在の愛知県域を構成する尾張・三河は、鎌倉と京都という二つの中心を持つ中世社会において、東西のはざまに位置し、日本史全体に関わるようなさまざまな出来事が生起していた。それらを概観しつつ、地域の視点から日本史を見直すことを考えていきたい。春学期は鎌倉時代から室町時代にかけての諸事象を取り上げていく予定。歴史の授業ですので、史料を読みつつ講義を進めることとなります。専門的な知識などは必要ありませんが、多少難解な言葉や文章と付き合いながら私の説明を聞くという根気は必要になるかと思います。							
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない;							
【Microsoft Teams の利用方法】 授業では使用しない;							
【WebCampus の利用方法】 授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
59	秋	文化・歴史	地域史特殊研究C－Ⅱ	松島周一	水	4	10
【副題】 戦国・織豊期の尾張・三河					開講キャンパス 日進		
【講義内容】 織田信長、羽柴秀吉、徳川家康は日本史上の大きな存在として知られていますが、彼らの活動がもともとの地元であった尾張・三河とどのように関わっていたのかはあまり知られていない部分もあるかと思ひます。近年は新しい研究も進められていて、以前とは異なる歴史の見方が必要な場合もあります。尾張・三河という地域に着目することで、彼らの活躍した時代を見直す切り口を考えていきたいと思ひます。 歴史の授業ですから、史料を読みながら講義を聞いてもらうことが多くなります。専門的な知識などは必要ありませんが、多少難解な言葉や文章に、私の説明を聞きながら付き合うような根気は必要になるかなとは思ひます。							
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない;							
【Microsoft Teams の利用方法】 授業では使用しない;							
【WebCampus の利用方法】 授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
60	春	文化・歴史	日本史特殊研究A－Ⅰ	 松園斉	火	2	10
【副題】 平安時代から中世にかけての王朝政治と文化					開講キャンパス 日進		
【講義内容】 1.プロローグ 2.令制以前の宮廷女性たち 3.令制の女官Ⅰ後宮十二司 4.令制の女官Ⅱ活躍する女官たち 5.令制の女官の変質・女房の出現 6.平安中期の女房・女官Ⅰ 7.平安中期の女房・女官Ⅱ 8.中世前期(院政期)の女房・女官Ⅰ 9.中世前期(院政期)の女房・女官Ⅱ 10.世前期(鎌倉期)の女房・女官Ⅰ 11.中世前期(鎌倉期)の女房・女官Ⅱ 12.中世後期(南北朝・室町期)の女房・女官Ⅰ 13.中世後期(南北朝・室町期)の女房・女官Ⅱ 14.中世後期(戦国期)の女房・女官Ⅲ 15.中世後期(戦国期)の女房・女官Ⅳ							
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない;							
【Microsoft Teams の利用方法】 講義資料の配信;							
【WebCampus の利用方法】 授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
61	秋	文化・歴史	日本史特殊研究A-Ⅱ		松菌齊	火	2	10
【副題】						開講キャンパス		
平安時代から中世にかけての王朝政治と文化						日進		
【講義内容】								
主に鎌倉時代の承久の乱から両統迭立期までを論じる。								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信;								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
62	春	文化・歴史	言語と文化 I		三木理	水	4	5
【副題】						開講キャンパス		
日本語の語彙(基礎編)						日進		
【講義内容】								
ことばの研究に関しては様々な分野がありますが、この授業では語彙論の分野に立って日本語の語彙について学び、理解を深めることを目的とします。具体的には、日本語の個々の語について、様々な例を採り上げながら、構造と意味の両面から考察していく予定です。単に「単語をたくさん覚える」ということよりも、単語を違った視点から考察することや、その成り立ちや意味に興味を惹かれる皆さんの聴講を歓迎します。 教科書は使用しません。各回の授業資料は事前に Teams にアップロードします。 事前のガイダンス等において、Microsoft Teams の操作への習熟をお願いいたします。学期中は、大学のサポートデスクもご活用下さい。(Teams に関して、教師と学生とでは画面や操作法が異なる場合があるため、皆さんの質問に十分に対応できない可能性があります。)								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信;課題・レポート等の配信;チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している);								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
63	秋	文化・歴史	言語と文化Ⅱ		三木理	水	4	5
【副題】						開講キャンパス		
日本語の語彙(ケーススタディ)						日進		
【講義内容】								
<p>「言語と文化Ⅰ」で学んだことを基礎として、日本語の語彙について更に深く学び、理解を深めることを目的とします。具体的な事例(地名、人名など)を採り上げ、その特徴などについて考察していくつもりです。また、折に触れて他言語の事例を紹介したり、他分野からの視点を紹介する機会もあるかと思えます。語彙(単語)に関する「豆知識」を増やしていくことよりも、学術的に考察することのおもしろさを味わいたい皆さんの聴講を歓迎します。</p> <p>教科書は使用しません。各回の授業資料は事前に Teams にアップロードします。</p> <p>事前のガイダンス等において、Microsoft Teams の操作への習熟をお願いいたします。学期中は、大学のサポートデスクもご活用下さい。(Teams に関して、教師と学生とでは画面や操作法が異なる場合があるため、皆さんの質問に十分に対応できない可能性があります。)</p>								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信;課題・レポート等の配信;チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している);								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
64	春	文化・歴史	国際関係史Ⅰ		門間卓也	水	2	10
【副題】						開講キャンパス		
「強制労働」の歴史						日進		
【講義内容】								
<p>19 世紀から現在の世界に至る過程の中で、個人や特定の集団(民族や人種)が強制的に「労働力」として動員され、酷使される事例は容易に発見できる。この講義では、奴隷制廃止運動から「現代奴隷制」に対する国際的取り組みまでを視野にいれながら、アメリカ、ドイツや東欧、そしてイスラエルなどにおいて「強制労働」がいかなる実態を伴って展開されてきたのか考えたい。また国際関係を踏まえた議論のみならず、「個人の問題」として等閑視され易いケアワーク、あるいは動物の家畜化といった問題にまで射程を広げる予定である。</p>								
【パソコンの利用方法】								
オフィスアプリケーション(Word、Excel 等)の利用;Microsoft Teams、WebCampus の利用;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信;チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している);								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
65	春	文化・歴史	日本の近代文学Ⅰ	吉田遼人	火	3	10
【副題】 明治期の小説表現史					開講キャンパス 日進		
【講義内容】 日本が西欧と出会い、近代化を推し進めてゆく明治時代においては、日本語そのものが大きく揺れ動くなかで、文学の言葉もまた新たに組み替えられる必要に迫られました。そうした特別な表現状況のもと、作家たちは、新時代の文学に相応しい〈小説〉をいかに書くかという難題に立ち向かい、さまざまな言語実験を試みることになります。本講義では、その具体的な諸相について、明治期の文学史を彩る文豪の足跡や文芸思潮の変遷をたどりながら考えてゆきます。							
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない；							
【Microsoft Teams の利用方法】 授業では使用しない；							
【WebCampus の利用方法】 授業では使用しない。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
66	秋	文化・歴史	日本の近代文学Ⅱ	吉田遼人	火	3	10
【副題】 大正期以降の小説表現史					開講キャンパス 日進		
【講義内容】 明治40年前後、日本の近代文学は確立期を迎えるに至りました。しかしながら、その事實は、〈小説〉をいかに書くかという問題が解消されたことを意味しません。大正、昭和と時代が推移しても、〈小説〉表現は新しい感性によって模索され続け、その問題意識は現代文学の担い手たちにもなお抱かれています。本講義では、その具体的な諸相について、大正期以降の文学史を彩る文豪の足跡や現代作家の活躍に目を向けながら考えてゆきます。							
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない；							
【Microsoft Teams の利用方法】 授業では使用しない；							
【WebCampus の利用方法】 授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
67	春	心理	スポーツ心理学	 石田光男	火	3	10
【副題】					開講キャンパス		
スポーツ科学における心理学的アプローチを学ぶ。					日進		
【講義内容】							
<p>スポーツ心理学は、運動に伴う情報処理過程、心理的コンディショニング、スポーツ活動によるメンタルヘルスなどを対象とする応用分野に位置づけられる。本講義では、動機づけ、運動学習、運動制御、情動、運動に関与する知覚情報処理のプロセスを解説する。また心理学的視点から身体活動によって得られる様々な健康維持機能についても触れ、身体運動と心との相互作用の理解を目指す。</p>							
【パソコンの利用方法】							
Microsoft Teams、WebCampus の利用;							
【Microsoft Teams の利用方法】							
講義資料の配信;課題・レポート等の配信;							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
68	春	健康	先端医療概論	伊藤高行	月	4	10
【副題】					開講キャンパス		
生命科学の進歩とそれが医療に新たにもたらすもの					日進		
【講義内容】							
<p>今、先端医療の基礎にある生命科学領域は日々急速に進歩している。特に生命活動を分子レベルで捉える分子生物学やデジタル技術の飛躍的な進歩は、遺伝子診断、遺伝子治療、分子標的薬、再生医療などの新たな領域を生み出し、また診断技術、治療技術や遠隔地医療にも大きな進歩をもたらしている。これらの新たな医療とその基礎にある知識発展と技術進歩を、できるだけ一般向けに概説し、できればそれらの技術革新に伴う新たな倫理的問題にも触れたい。</p>							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない;							
【Microsoft Teams の利用方法】							
授業では使用しない;							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
69	春	経済	ミクロ経済学Ⅰ		王嘉陽	火	4	3
【副題】						開講キャンパス		
ミクロ経済学の基礎から学ぼう						名城公園		
【講義内容】								
本講義では、ミクロ経済学の基本的な考え方である需要曲線と供給曲線および市場均衡について説明します。各経済主体の便益追及が経済全体の最適化となる市場均衡状態を達成させる市場メカニズムについて説明することを通じて、経済学の基本的な考え方や分析手法を学ぶ。								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信;								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
70	秋	経済	ミクロ経済学Ⅱ		王嘉陽	火	4	3
【副題】						開講キャンパス		
ミクロ経済学の基礎から学ぼう						名城公園		
【講義内容】								
この授業では、経済学の基本的な単位である消費者と生産者について学習する。消費者については、複数の財の選択を理論的に分析する方法を学習する。生産者については、生産費用の構造について、経済学でよく用いられる理論を学習する。								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信;								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
71	春	経済	ミクロ経済学Ⅰ		三好向洋	火	4	3
【副題】						開講キャンパス		
市場の理論の基礎						名城公園		
【講義内容】								
需要曲線・供給曲線を使い余剰概念を用いた厚生分析の基礎を学習する								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信;課題・レポート等の配信;								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
72	秋	経済	ミクロ経済学Ⅱ		三好向洋	火	4	3
【副題】						開講キャンパス		
消費者行動と生産者行動の分析						名城公園		
【講義内容】								
消費者行動の基礎である2財モデルと、生産者行動の基礎である費用関数を用いた分析の基礎を学習する								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信;課題・レポート等の配信;								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
73	春	経済	マクロ経済学Ⅰ		吉田雅彦	月	3	3
【副題】 国民所得の概念とその決定理論						開講キャンパス 名城公園		
【講義内容】 国内総生産(GDP)の概念を解説し、マクロ経済における均衡(総供給=総需要)へのプロセスを理論的に説明します。								
【パソコンの利用方法】 Microsoft Teams、WebCampus の利用;								
【Microsoft Teams の利用方法】 講義資料の配信;課題・レポート等の配信;								
【WebCampus の利用方法】 授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
74	秋	経済	マクロ経済学Ⅱ		吉田雅彦	月	3	3
【副題】 マクロ経済政策						開講キャンパス 名城公園		
【講義内容】 貨幣市場について理論・制度的に解説します。日銀の役割並びに貨幣の供給および需要について解説します。また、マクロ経済学の理論的フレームワークを利用して、財政政策や金融政策の効果を解説します。								
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない;								
【Microsoft Teams の利用方法】 講義資料の配信;課題・レポート等の配信;								
【WebCampus の利用方法】 授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
75	春	政治	国際研究 I a		大澤傑	月	2	5
【副題】						開講キャンパス		
グローバル化する社会を理解する						日進		
【講義内容】								
<p>国際関係という概念はどのように誕生したのか。グローバル化が進展する国際社会において、国家、国際機関、NGO、企業等の役割は何か。国際関係の理論はどのように構築されてきたのか。本講義では、現在発生している国際問題はどのような構造によって起きるのかを多角的な視点から捉えるとともに、諸外国の人々との相互理解を促進するため、国際関係論の基礎的な知識を身に着けることを目指します。また、国際社会における日本の立場を理解し、グローバルに活躍できる能力を養います。</p> <p>授業は座席指定です。履修者が確定したら座席をお知らせします。</p>								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信;課題・レポート等の配信;チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している);								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
76	春	その他	産官学連携講座 I		松岡昌幸	火	2	5
【副題】						開講キャンパス		
地域の観光まちづくり(持続可能な観光のカタチを共創)						日進		
【講義内容】								
<p>観光庁(2023)は、地域活性化及び観光立国に資する好循環の創出を目指し、未来の観光産業人材像を、観光地経営人材と観光産業人材に大別し、観光地の再生・高付加価値化、持続可能な観光地域づくり、個々のビジネス経営を担う高付加価値で持続可能な観光産業に寄与する人材教育の必要性を強調している。当講義は、そのような観光人材教育の必要性を踏まえ、特に地域の観光まちづくりに焦点をあて、地域の街づくりにとって、必要な理論や実践的な知識を身につけ、日進市における未来の持続可能な観光のカタチを共創することを目的とする。</p>								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信;								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
77	春	その他	コミュニティ論		村田尚生	火	3	5
【副題】						開講キャンパス		
持続可能な地域コミュニティのあり方を考える						日進		
【講義内容】								
<p>「無縁社会」という言葉が象徴するように、現代の日本社会は様々な関係性がとぎれ、孤独死や自殺、ひきこもりなど人々の暮らしは不安の中にあります。こうした中、コミュニティの存在価値を改めて認識する必要があります。</p> <p>そこで、これまで主に欧米でなされてきたコミュニティに関する言説をひも解きながら、日本人がとってきた地域のつながりを見直すことで、これからのコミュニティのあり方について考察します。さらには希薄化したコミュニティの関係性を再生し持続可能とするための方策について検討します。</p> <p>授業内で発言してもらうことがあります。</p>								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用; オフィスアプリケーション (Word、Excel 等) の利用;								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信; 課題・レポート等の配信; 授業欠席時の録画配信; チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している);								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								